


現況検査により認められる状況の記録

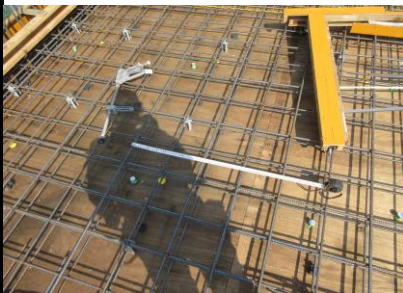
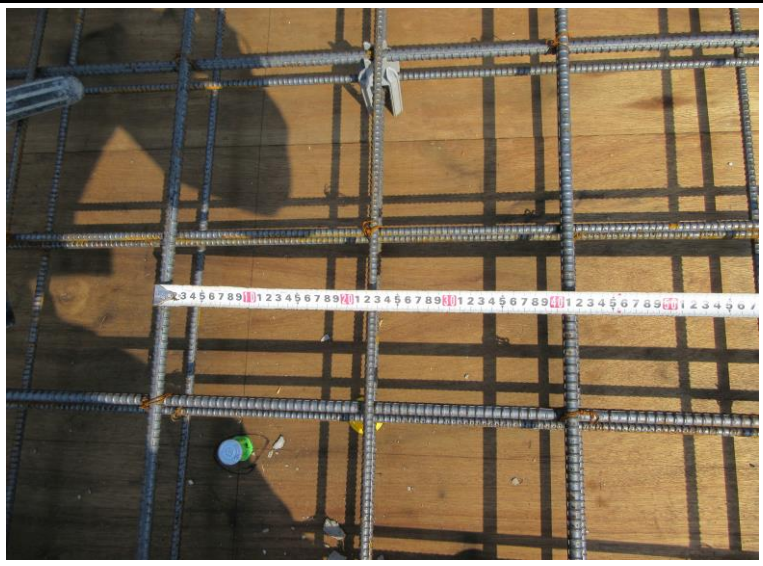
令和5年5月10日	
NO	61
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@200mmチドリ (縦横共)	




令和5年5月10日	
NO	62
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	

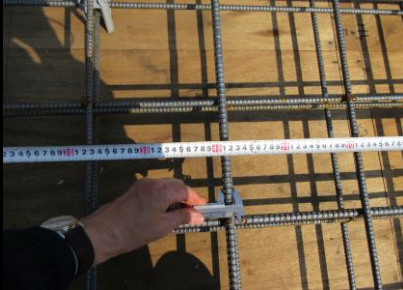
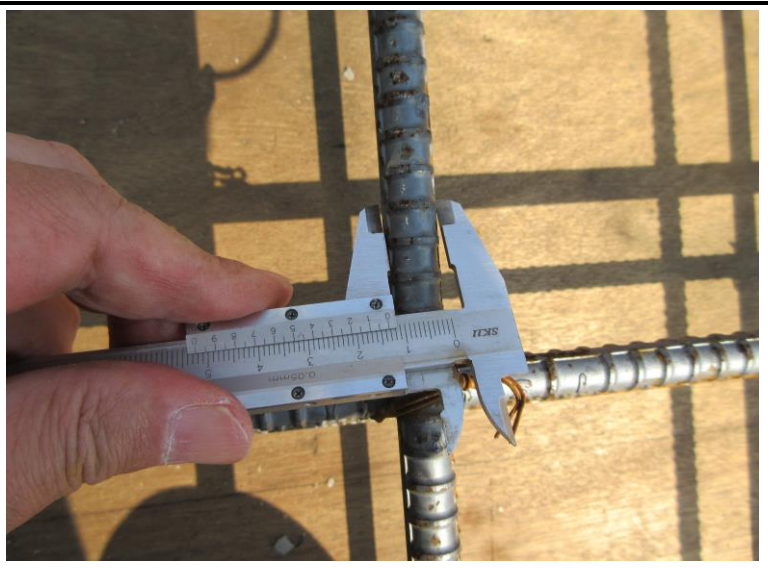



令和5年5月10日	
NO	63
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	

現況検査により認められる状況の記録


令和5年5月10日	
NO	64
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	

令和5年5月10日	
NO	65
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。下端筋D10@200mm (縦横共)	

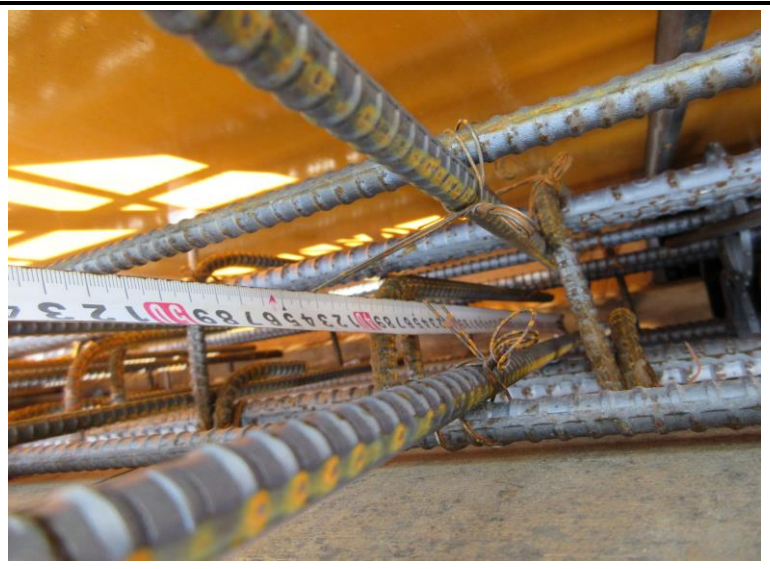



令和5年5月10日	
NO	66
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)
スラブ上下面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上)、及び、鉄筋間の空き (25mm以上) が確保されるようスペーサーが設置されていることを確認。	

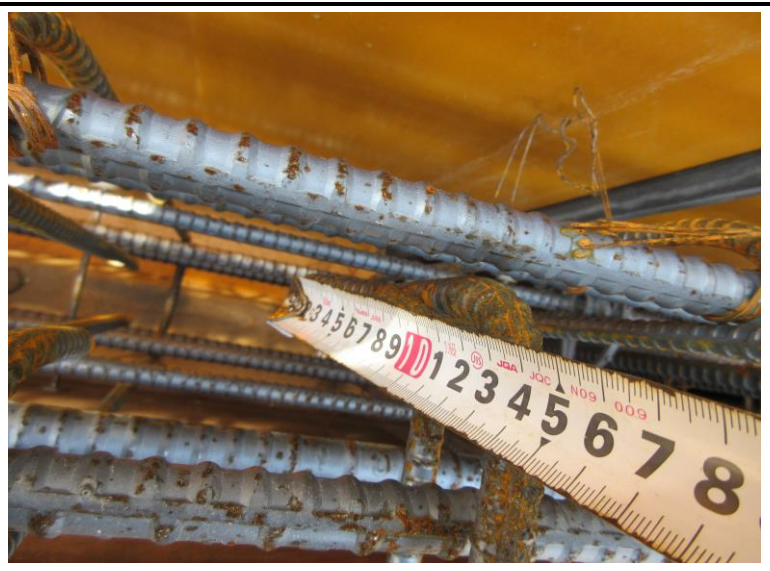



現況検査により認められる状況の記録


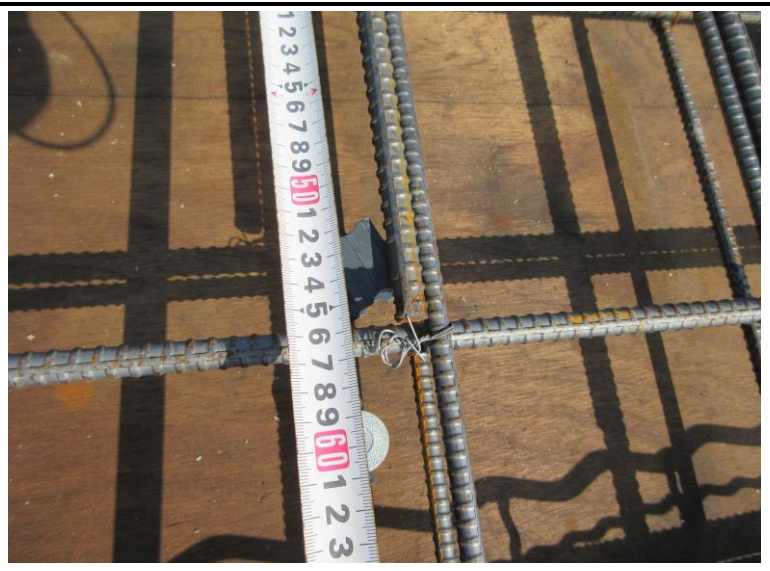
令和5年5月10日	
NO	67
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)
スラブ上端筋の梁への定着長さ (L2 : D13 × 35 = 455mm以上) が確保されていることを確認。	

令和5年5月10日	
NO	68
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)
スラブ下端筋の梁への定着長さ (L3 : D10 × 10 d = 100mm、且つ150mm以上) が確保されていることを確認。	

令和5年5月10日	
NO	69
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)
スラブ上端筋の梁上部の直線定着長さ (L2 : D13 × 35 = 455mm以上) が確保されていることを確認。	

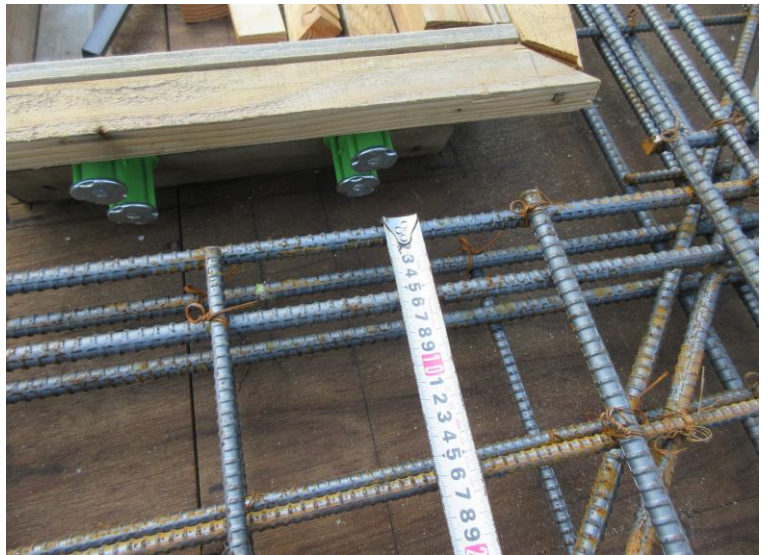



現況検査により認められる状況の記録


令和5年5月10日	
NO	70
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。	




令和5年5月10日	
NO	71
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)
ダメ穴開口補強筋が計画 (施工図) 通りに設置されていることを確認。(開口廻りの縦横：上筋2-D13、下筋2-D13)	

令和5年5月10日	
NO	72
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)
同上。(開口廻りの斜筋：上筋1-D13、下筋1-D13) また、余長部の定着長さ (L1：D13×40 d=520mm) が確保されていることを確認。	




現況検査により認められる状況の記録

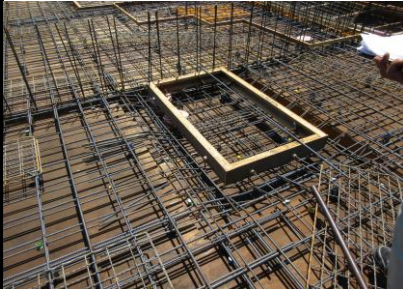
令和5年5月10日	
NO	73
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)

S3段差スラブ部の補強筋が不足している箇所があることを指摘。




令和5年5月11日	
NO	74
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S3)

上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。



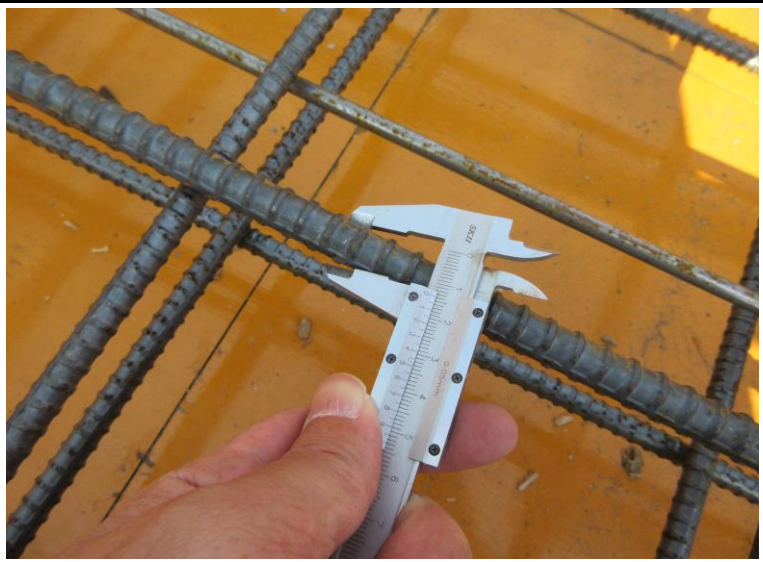
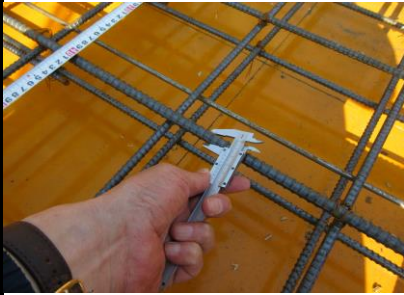

令和5年5月10日	
NO	75
場所	AB棟 (B棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)

計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (主筋: 短辺方向) D10・D13@200mmチドリ

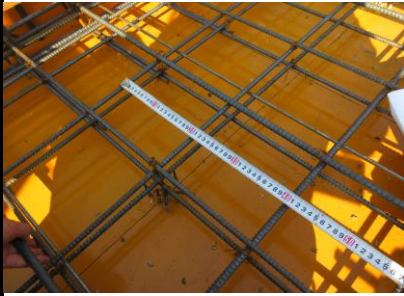



現況検査により認められる状況の記録

令和5年5月10日	
NO	76
場所	AB棟 (B棟)
部位	キャンテイスラブ (CS1)
同上。	



令和5年5月10日	
NO	77
場所	AB棟 (B棟)
部位	キャンテイスラブ (CS1)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋 (配力筋: 長辺方向) D10@200mm	



令和5年5月10日	
NO	78
場所	AB棟 (B棟)
部位	キャンテイスラブ (CS1)
スラブ上下面の鉄筋かぶり厚さ (20mm以上)、及び、鉄筋間の空き (25mm以上) が確保されるようスペーサーが設置されていることを確認。	

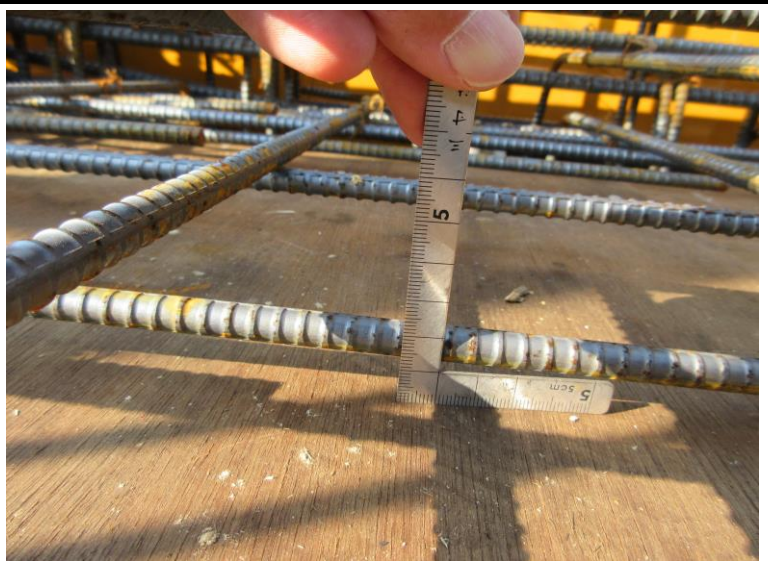


現況検査により認められる状況の記録

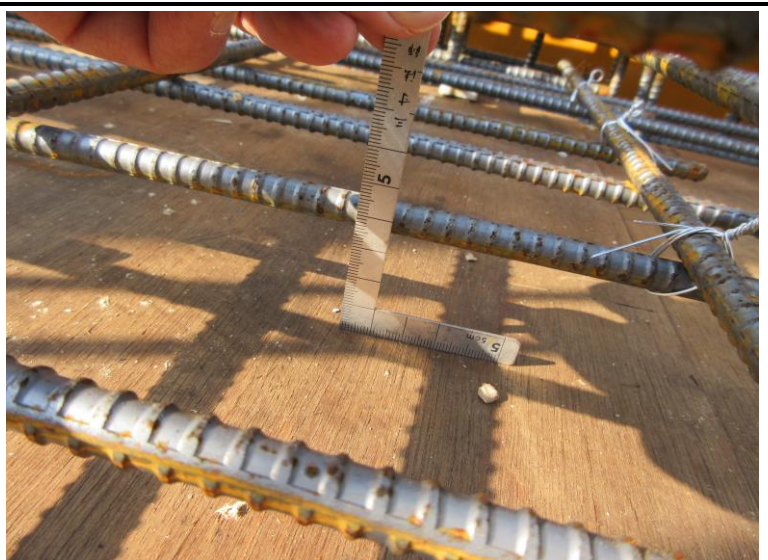
令和5年5月10日	
NO	79
場所	AB棟 (B棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
キャンティスラブ (CS1) の上端主筋の定着長さ (梁の内面より500mm) が十分確保されていることを確認。	



令和5年5月10日	
NO	80
場所	AB棟 (B棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
CS1の定着筋下部 (結束不良の為) に鉄筋かぶり厚さに不足する箇所があることを指摘。	

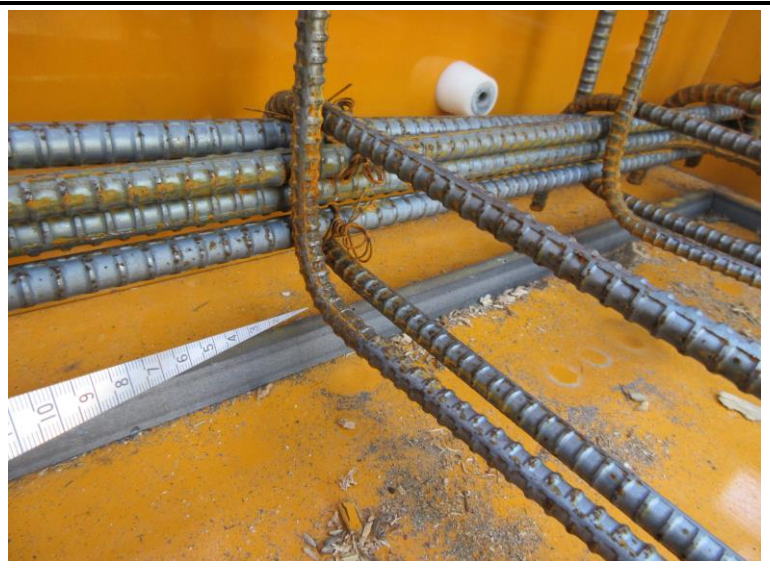


令和5年5月10日	
NO	81
場所	AB棟 (B棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	



現況検査により認められる状況の記録

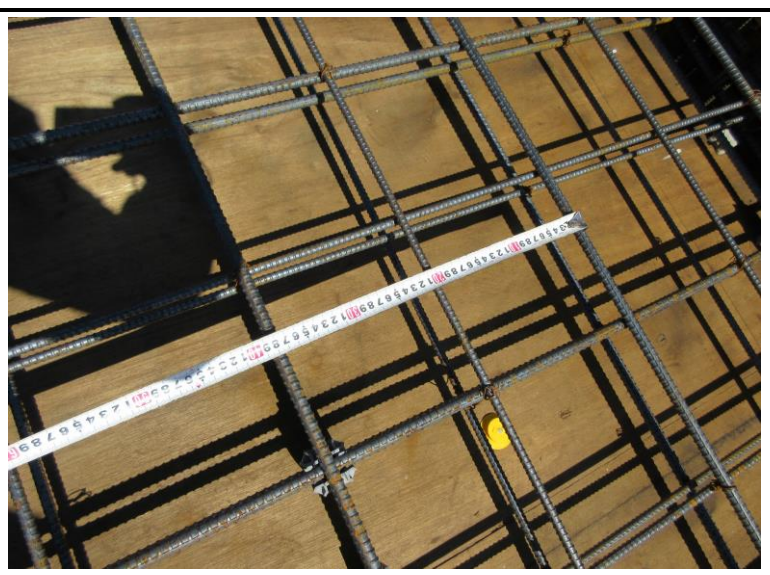
令和5年5月10日	
NO	82
場所	AB棟 (B棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
バルコニー手すり壁下端部の補強筋が不足している箇所があることを指摘。	

令和5年5月11日	
NO	83
場所	AB棟 (B棟)
部位	キャンティスラブ (CS1)
上記指摘に関しては、その場にて是正が行われたことを確認済。	

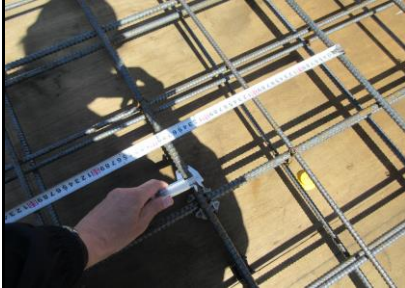
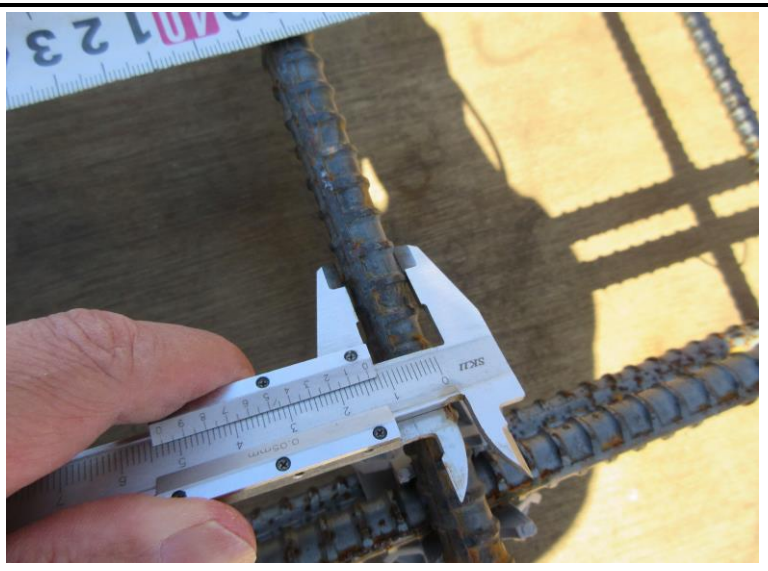



令和5年5月10日	
NO	84
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S4)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。D10・D13@200mmチドリ (縦横共：ダブル)	

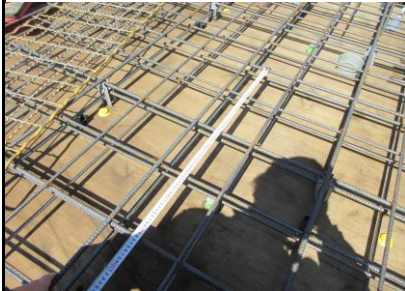
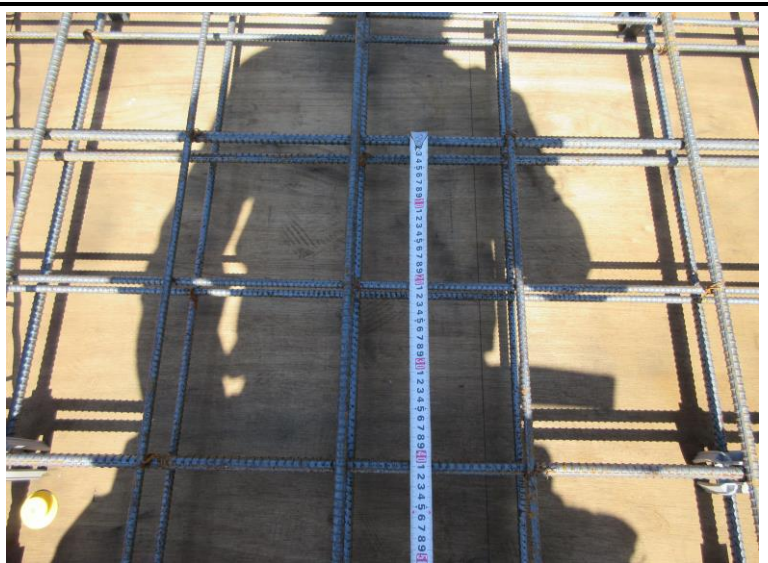



現況検査により認められる状況の記録

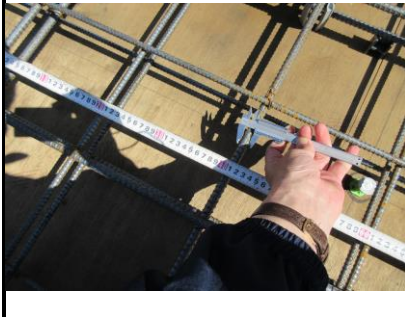
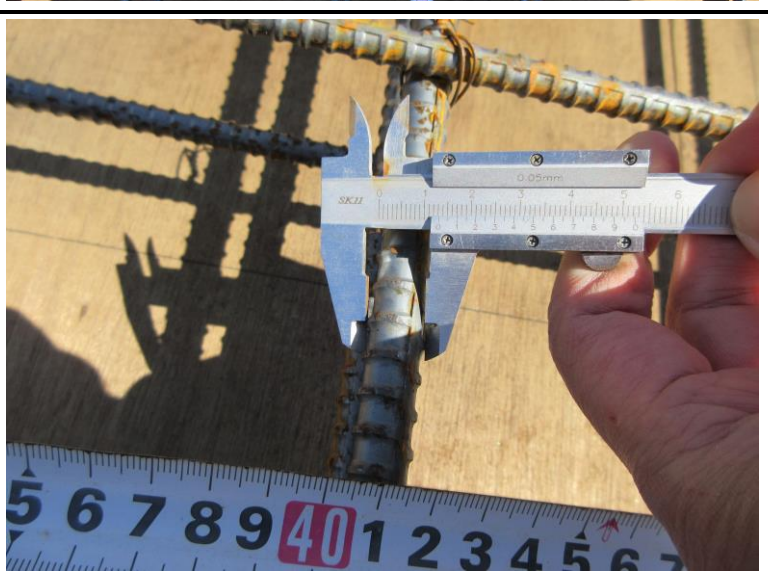
令和5年5月10日	
NO	85
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S4)
同上。	

令和5年5月10日	
NO	86
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S4)
同上。	


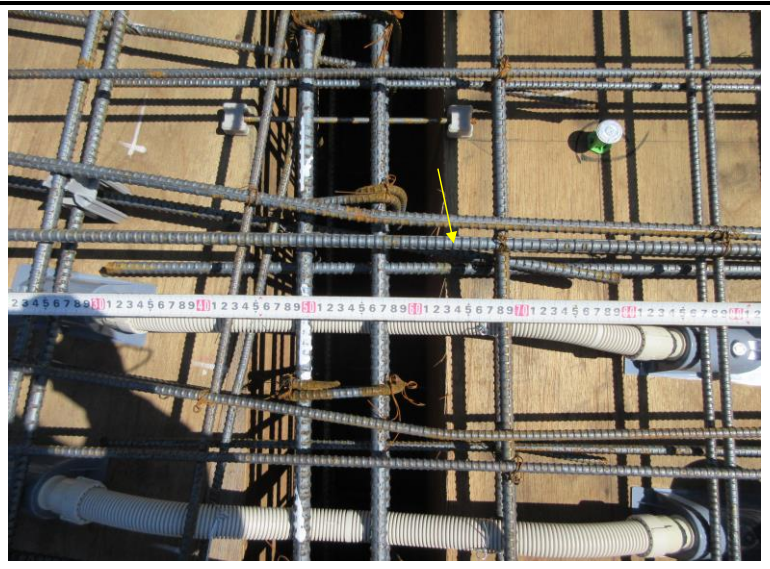



令和5年5月10日	
NO	87
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S4)
同上。	

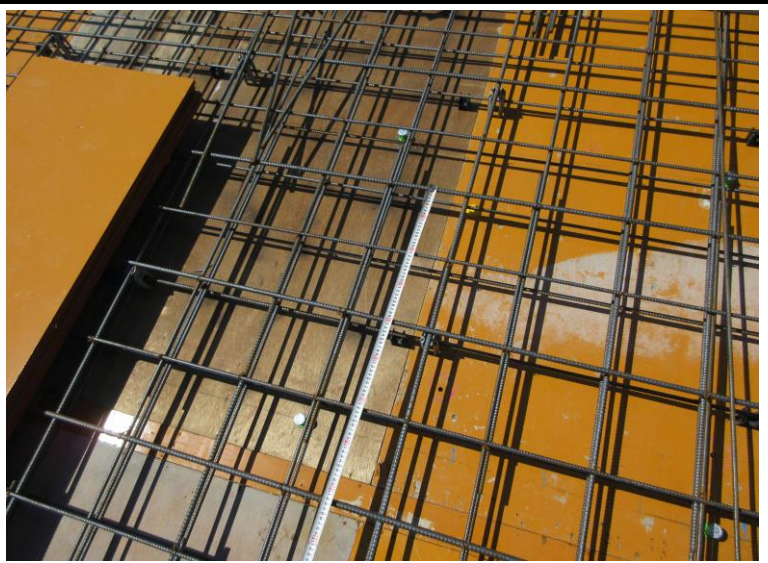



現況検査により認められる状況の記録

令和5年5月10日	
NO	88
場所	AB棟 (B棟)
部位	床スラブ (S4)
スラブ上端筋の梁上部の直線定着長さ (L2 : D13×35=455mm以上) が確保されていることを確認。	

令和5年5月10日	
NO	89
場所	AB棟 (B棟:BY1~4)
部位	床スラブ (S3)
計画通りの配筋組が行われていることを確認。上端筋D10・D13@200mmチドリ (縦横共)	

令和5年5月10日	
NO	90
場所	AB棟 (B棟:BY1~4)
部位	床スラブ (S3)
同上。	

